



日本へ来たてのワタシ

newsletter



21. NGUYEN DUYEN

技能実習生





今回ご紹介するのは、Duyenさんです。Duyenさんは2025年2月に日本へ行って、現在は青森県にある株式会社マエダで食品製造業分野の技能実習生として働いています。訪日前には、VHC人材ネットワーク投資顧問株式会社のセンターで約6か月間日本語を学び、JLPT N5に合格しました。現在日本語の勉強を続けており、これからJLPT N4の受験に向けて準備しています。

来日したばかりの頃は、コミュニケーションや生活面で少なからず苦労もありました。しかし、日本での生活と仕事を1年以上続ける中で、少しずつ慣れてきて、日本語を使うことにも自信がついてきました。

日本での生活の中でのDuyenさんが体験した話を、ぜひ一緒に聞いてみましょう！





日本での生活に慣れていく

日本の初印象は、街がとてもきれいだということでした。私が住んでいるところは東京のようににぎやかではなく、比較的静かで、田舎のような雰囲気があります。その落ち着いた雰囲気のおかげで、とても居心地の良い場所だと感じました。大都市ではありませんが、駅や交番、コンビニなどの施設がそろっているので、日常生活はとても便利です。





日本に来たのは、ちょうど雪が溶け始め、桜の季節を迎える時期でした。木々は少しずつ緑を取り戻し、花も咲き始めて、とても美しい景色が広がっていました。

夏は暑くなりますが、夜は涼しいので、よく自転車で出かけます。でも冬になると気温がマイナス4～5度まで下がることもあるので、仕事の後は寒くて家で過ごすことが多いです。冬はあたり一面が真っ白な雪に覆われ、景色がとてもきれいです。

初めて雪を見て、とてもわくわくしました。すぐ外に出て雪を眺め、写真を撮たくさん撮りました。雪の日はとても寒く、たくさん積もると道がほとんど見えないほどでした。でも、除雪車が来て雪を片付けてくれるので、道路はきれいになって、移動もしやすくなります。





「皆さんの気遣いや温かさのおかげで、外国での生活でも安心して過ごすことができました。」

私が住んでいるところには田んぼが多く、人々はとても素朴で親切です。私たちのグループがこの地域に来た最初の外国人だったようで、来たばかりの頃は、みんなとても興味を持っていたようです。会うたびに、珍しそうに私を見て話しかけてくれたり、いろいろな質問をしたり、時には「かわいいね」と褒めてくれたりすることもありました。

それだけでなく、ここの人たちはとても親切で、よく野菜や食べ物を持ってきてくれます。そのおかげで、家にはいつもきゅうりやナス、オクラなどの野菜がたくさんあり、外で食材を買う必要がほとんどありません。最初は少しよそよそしい感じでしたが、だんだんと親しみやすくなりました。

来日前、ベトナムの日本語センターで勉強していたとき、センターを訪れた日本人のお客様に何度かお会いしました。そのときは、日本人はとても真面目であまり話さず、少し近寄りがたい印象があったので、少し不安に感じていました。しかし実際に日本で生活してみると、周りの人たちはとても親切で素朴な人ばかりだと感じました。皆さんの気遣いや温かさのおかげで、外国での生活でも安心して過ごすことができました。新しい環境の中でもだんだん自信を持ってコミュニケーションを取り、社会に溶け込めるようになったと感じています。





週末に会社の方々と一緒に食事をするのがよくあります。技能実習生はフォーや生春巻きなどの簡単なベトナム料理を作り、みんなで一緒に食べます。ベトナム料理は日本料理と味付けが少し違い、特にチリソースなどの調味料をよく使うため、日本人にとって新鮮で面白い味に感じられるようです。

また、しばらく生活しているうちに、日本人の規律正しさがとても素晴らしいものだと感じるようになりました。ここでは、仕事をいい加減にしたり、大ざっぱにしたりすることはほとんどありません。すべての仕事は、はっきりとしたルールに従って行わなければなりません。例えば食品加工の仕事では、原材料を1リットル、1グラム単位まで正確に量り、少しの誤差も許されません。最初は難しいと感じましたが、長く続けるうちに、私もそのような規律ある働き方にだんだん慣れてきました。





監理団体と同僚からのサポート



来日後、監理団体で約1か月間過ごした後、職場に配属されて約10日間の研修を受けました。監理団体は今でも私とほかの実習生のことをよく気にかけてくれています。毎月電話で生活や仕事の様子を聞いてくれたり、日本語の勉強を頑張るよう励ましてくれたりします。

職場の先輩や同僚の皆さんもよく親切に仕事を教えてくれています。そのおかげで、分からないことがあれば、その場ですぐに聞くようにしています。正直に伝えれば、もう一度丁寧に教えてもらえるからです。

皆さんは、私たちが外国人であることを理解してくれているので、わかるまで根気よく丁寧に説明してくれるのだと思います。

普段の会話の中で日本語の間違いもよく直してくれます。言い間違えたり、言葉の使い方が違っていたりすると、すぐ教えてくれるので、とても勉強になります。それだけでなく、いろいろな場面での話し方も教えてくれます。例えば、お客様を長くお待たせしてしまったときの謝り方や、感謝の伝え方、丁寧な言い方などです。このような実際の場面に基づいたアドバイスのおかげで、教科書だけで勉強するよりも、日本語をより効果的に学ぶことができると思います。





あなたへのヒント①



日本で働き始めて1年以上経って、Duyenさんは日本語の勉強は教科書だけでなく、実際のコミュニケーションや経験を通して身につけていくことが大切だと実感するようになりました。最初の頃は語彙がまだ少なく、表現の仕方にも慣れていなかったため、さまざまな難しさを感じていたようです。しかし、周りの人たちと積極的に会話をしたり、分からないことがあればすぐ聞き直したりすることで、日本語力は少しずつ向上してきたと話しました。このような戦略は、「ひきだすにほんご」という日本語学習サイトで学ぶことができる内容の一つです。これは、国際交流基金とNHKエデュケーショナルが共同で作成し、日本での生活や就労を目的に日本語を勉強する人のための映像教材です。

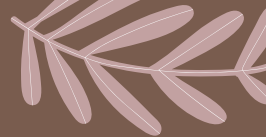


ひきだす
にほんご
Activate Your Japanese!
コンテンツライブラリー



Duyenさんは、同僚や地域の人々との会話、そして間違いを直してもらった一つ一つの機会がとても貴重な学びであったと言っていました。日常生活でのこうした経験を通して、言語を学ぶには、継続的な努力と積極的な姿勢、そして実際に使い続けることが大切だと思います。これは日本の生活場면을重視した教材である「いろどり」が大切にしていることです。





あなたへのヒント②

生活の日本語を勉強できるサイト



①IRODORI Japanese Online Course

日本の生活場面で必要となる日本語を学べるサイトです。教室でも「実際に使う」模擬体験ができるような工夫があります。動画やイラスト、音声などが充実しており、ベトナム語解説もあるので一人でも飽きずに勉強できます。

Trình độ : A1～A2

<https://www.irodori-online.jp.go.jp/>

②ひきだすにほんご Activate Your Japanese !

実践的な日本語コミュニケーション力をアップさせるための多くのヒントを学ぶことができる映像教材です。「相手が言ったことがわからないときどうするか」のようなコミュニケーションに必要なストラテジーを学ぶことができます。映像はドラマ仕立てになっているので、楽しみながら学習できます。

Trình độ : A2～B1

<https://www.hikidasu.jp.go.jp/>



newsletter